

へイケホテルが舞う田んぼ

「自然耕塾@高山村」 募集要項

期間： 2月～11月（修了式、収穫祭）

〈塾申込手順について〉

- ① 別紙の「自然耕塾@高山村の申込書」に必要事項を記入してください。
- ② 記載した申込用紙を郵送もしくはFAXにて申し込んでください。
- ③ 申込書の内容が審査され、問題がなければ、入会金と講習費用のご案内が送付されます
- ④ 案内の指定口座へ入会金と講習費用の振込の手続きをお願いします。
- ⑤ お振込みを確認させていただいた段階で、申込が完了となります。

なお、全過程を受講する目処が立たない方は、スポットでの参加をお勧めします。

まずは、ご連絡をお願いします。

自然耕塾@高山村

へイケホテルが乱舞、メダカが泳ぐ田んぼ



長野県上高井郡高山村大字中山 2034

ほたるが居る田んぼを創る会 自然耕塾@高山村 代表 園原久仁彦

TEL : 090-9665-0907 FAX : 026-246-6032

太い支柱：「無農薬、無化学肥料でのお米、大豆、黒豆（お味噌）づくりで健康の支柱を」

《自分で作る主食のお米、お味噌で60兆の細胞を支える。安全な食物でしか、
家族の健康を支えることはできません。》

へイケホテルが乱舞する、生きものいっぱいの田んぼを創って10年目

岩澤信夫冬期湛水不耕起移植栽培のイネづくり

[主催、協力、協賛など]

主催：ほたるの居る田んぼを創る会 自然耕塾@高山村 代表 園原久仁彦

協力：NPO法人 未来農業研究センター

協賛：日本不耕起栽培普及会

実施場所：高山村公民館、育苗ハウス、冬期湛水不耕起の田んぼ

連絡先：〒382-0804 長野県上高井郡高山村大字中山 2034

園原まで、携帯電話：090-9665-0907 FAX：026-246-6032

耕さず肥料も農薬も使わない!

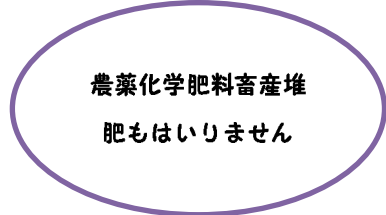
岩澤信夫農法のお米づくり



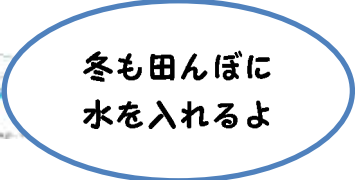
耕さないよ

トラクターを使わないので省エネルギーです
田んぼが生きものでいっぱいになり、水も浄化されます
メタンガスの発生が少ないので環境にやさしいです
根穴構造が変わり大粒でおいしいお米になります

イトミミズなどの生き物たちが堆肥や肥料を作ってくれます
EM(微生物の集合)、米めか、天然ミネラルを入れます
病害虫や冷害に強い苗作りをするので農薬がなくても大丈夫です



農薬化学肥料畜産堆肥もはいりません



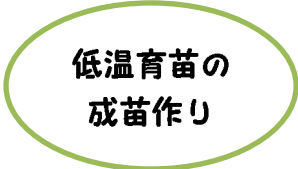
冬も田んぼに水を入れるよ

冬期湛水することで、抑草・肥料効率が上がります
自然の循環を断ち切らないようにします

冬期湛水で抑草し、乳酸菌とチェーン除草で除草します
あとはひたすら手で抜く、取り除く



除草剤も使いません



低温育苗の成苗作り

約50~55日かけて成苗(5.5葉)を育てます
農薬、殺虫剤、殺菌剤不使用
冷害や病害虫に強く、倒伏しづらい苗です

田んぼが藻類、微生物、タニシ、カエル、メダカ、ドジョウ、ハイケホタル、トンボ、クモなどたくさんの生きものでいっぱいになります



生きものがいっぱい



冬期湛水田
田植え後の田んぼ



苗作り



田植え



チェーン除草

産まれてきた子はアトピーでした
我が子のアトピーを治したいと思い
病院へいきました
たくさんの本を読みました
いろいろな人の話も聞きました
そして、アレルギーの有無にかかわらず食事と環境が大切だと気付き
自分で食べるものは自分の手で作り
家族の健康を守りたいという思いが強くなりました
そんなとき岩澤農法(冬期湛水不耕起移植栽培)に出会い
高山村の園原久仁彦先生の『自然耕塾』に通い勉強を始めました
岩澤農法は主食のお米を耕さず農薬も肥料も除草剤も使わずに作ります
さらにお米を作ることで生き物いっぱいの環境を取り戻し守ることができる農法です
お米作りは未経験でしたが女性でも無理なく楽しくできる農法だと感じています
そして自分の手で作ったお米を食べたとき
心から安心していただくことができました

こんなことをやっています

- お米作り……種もみから収穫まで農薬、化学肥料、除草剤を使わないので
玄米でも安心して食べることができます
- 発芽玄米餅 ……農薬、化学肥料、除草剤不使用のもち米で作ったお餅です
精米してないので栄養価が高く
白米餅よりお年寄りやお子さんでも食べやすいです
- 味噌 ……無農薬・無化学肥料で育てた大豆、黒豆、お米(麴)で仕込みます
天日海塩とEM塩使用(非販売)
- 醤油 ……春に仕込み天地返しを繰り返し初冬に搾る
天然醸造のお醤油です(非販売)

お米・味噌・醤油作りに興味のある方
お問い合わせは

お米とお豆のおうち

〒382-0028 長野県須坂市臥竜 6-16-9
携帯 090-4953-2625
松田かよ

2017年度 自然耕塾の塾開催日予定表（自然耕塾@高山村）090-9665-0907 園原

塾開催日	過程	内容
会場は	会場	高山村公民館 高山村役場 東隣り
	時間	AM:9時30分~PM:4時
	持ち物	不耕起でよみがえる(本)、筆記用具、昼食、長靴等
02月18日(土)	観察	冬期湛水中の田んぼ
	見学	塩水選、浸種、育苗ハウス お味噌作り方
	講義	第01過程:総論(耕さない田んぼでのイネづくり)
03月11日(土)	観察	冬期湛水中の田んぼ、雑草の生育の様子
	見学	播種作業
	講義	第02過程:苗づくり(低温育苗)5.5葉苗づくり(最重要)
04月15日(土)	観察	冬期湛水中の田んぼ、苗の生育
	見学	ハウス育苗管理、5.5葉苗づくり(最重要)
	講義	第03過程:イネの生理と耕さない田んぼの特徴 田植えの準備
05月20日(土)	観察	苗の生育、田植え直前の田んぼの様子
	見学	不耕起田用田植機の田植え
	講義	第04過程:施肥技術
06月17日(土)	観察	12年目の冬期湛水不耕起田、大豆土中緑化さし芽栽培
	見学	無農薬の畑11年目、稲の生長、深水の意味
	講義	第05過程:イネの生理2
7月8日(土)	冬期湛水不耕起田12年目のヘイケホテル観蜚会、夜8時、温泉で宿泊も	
07月8日(土)	観察	田んぼの生きもの、田んぼの深水管理
	見学	無農薬の畑11年目、豆畑
	講義	第06過程:栄養生長と生殖生長の転換期 第07過程:生殖生長
08月19日(土)	観察	12年目の冬期湛水不耕起田、メダカや生き物たち
	見学	無農薬の畑11年目
	講義	第08過程:登熟、
9月16日(土)	観察	イネの登熟、イナゴたち
	見学	落水後の田んぼ、ハゼ架け、無農薬の豆畑
	講義	第09過程:収穫期
10月21日(土)	観察	イネの生育、田んぼ、豆畑
	見学	田んぼの補修、厚波板畔補修等
	講義	第10過程:冬期湛水の準備
11月18日(土)	観察	12年目の冬期湛水田、稲株の根と
	見学	お米の商品化(精米プラント)
	講義	第11過程:自然耕塾 第12過程:まとめ 収穫祭
11月18日(土)	【収穫祭】及び【修了式】	

7月9日(日)刈払機特別教7月育講習会 NPO:木と遊ぶ研究会を行います。(参加費別途です)

2017年「自然耕塾@高山村」申込書

自然耕塾@高山村のパンフレットの内容及び募集要項を確認の上、
2017年「自然耕塾@高山村」を申し込みます。

署名: _____ (印)

ご氏名	かな	性	電話番号(平日の連絡手段: <input type="checkbox"/> 携帯 <input type="checkbox"/> 固定電話)													
	昭・平 年 月 日生(歳)		男	固定電話	0				-				-			
			女	FAX	0				-				-			
				携帯電話	0	0	-					-				
住所	〒 _____ 都道府県 _____ 市区郡 _____ 区 町村 _____															

受講者情報

<input type="checkbox"/> 日本不耕起栽培普及会会員 <input type="checkbox"/> 塾生: _____ の同伴者 <input type="checkbox"/> 一般		健康状態は、 <input type="checkbox"/> 特に問題ない <input type="checkbox"/> 特筆点がある。												
<input type="checkbox"/> 傷害保険に加入済	保険会社名	傷害保険名	保険満了日											
<input type="checkbox"/> 傷害保険に加入予定(傷害保険名: _____、加入予定日: _____年 月 日付)														
自然耕塾の受講形態	<input type="checkbox"/> 塾生A(年間受講) <input type="checkbox"/> 塾生B(年間受講、基本的に水田保持者が対象) <input type="checkbox"/> スポット受講(月/日:① / /、② / /、③ / / ④ / /、⑤ / /)													
受講形態は自然耕塾@佐倉と同様になります。詳細はこちらをご覧ください。 http://www.no-tillfarming.jp/join_sakura.html														
集合場所までの交通手段:		<input type="checkbox"/> 車 <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> その他(_____)												
緊急時連絡先	かな	関係	緊急連絡電話番号											
	氏名		第1	0										
お知らせの方法		<input type="checkbox"/> :印刷物(FAXやメール便)での配信を希望 <input type="checkbox"/> :PCメール(pdfファイル)での配信を希望												
PCメールアドレス														
職業		職種												
加入団体や普段参加している活動: _____														
イネつくりの具体的な計画		田んぼの面積		冬期湛水可能な田んぼ		耕さない田んぼの計画								
<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 将来の夢		約 反(10a)		約 反(10a)		約 反(10a)								
その他の特筆事項: _____														

注 (1) 必要事項に記載漏れがあると受付が遅れます。再度、内容をご確認の上お申し込みください。
記 (2) 定員に達した場合や受講に適さないと判断された場合は、お申し込みをお受けできないことがあります。

事務局 使用欄	受付	年 月 日	メモ
------------	----	-------	----